平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	データベース3(Database3)			**授業コード**	C165801
担当教員名	濱田　大助				
配当学年	3	**開講期**	前期		
必修・選択区分	選択	**単位数**	2		
履修上の注意または履修条件					
受講心得	欠席した学生はその授業で出された課題の回答、レポートの提出はできません。 コンピュータを使用するIDとパスワードを確認しておく。 体調不良の場合は遠慮せず申し出ること。 教室内では以下の事項を禁止します。 ・飲食、喫煙、緊急以外の携帯電話操作 ・指示をしていない「話し合い」 ・講義に関係の無いサイト、漫画、雑誌の閲読 ・他の講義の演習課題の作業等 ・その他、直接講義と関係の無い事項 ・帽子、サングラス、イヤホン(PC接続含む)の着用				
教科書	必要に応じプリントやPDF、EPUB資料等を配布します。				
参考文献及び指定図書	Linux標準教科書(Ver2.0.0)　http://www.lpi.or.jp/linuxtext/text.shtml Linuxサーバー構築標準教科書(Ver2.0.1)　http://www.lpi.or.jp/linuxtext/server.shtml				
関連科目					

授業の目的	情報化社会の急速な発展の中、今日の情報産業の生産物はさまざまな人間の社会活動や情報技術との相互作用によってもたらされるシステム―情報システム―ととらえることができます。 データベース1・2で学習をした、リレーショナル型データベースとその言語であるSQL(エスキューエル)を活用するため、実際にデータベースを構築、利用し、情報検索・情報発信の実習を通して理解を深めます。 実践的な理解を得るため学内の閉じた環境を脱し、一般的な開発環境でより実践的な技術を身につけます。
授業の概要	

○授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第1週： 1　オリエンテーション	WEB資料(学内のみ)
第2週： 2　SQL復習	WEB資料(学内のみ)
第3週： 3　SQL復習	WEB資料(学内のみ)
第4週： 4　SQL復習	WEB資料(学内のみ)
第5週： 5　LINUXとDB	WEB資料(学内のみ)
第6週： 6　LINUXとDB(環境整備)	WEB資料(学内のみ)

第７週： 7　LINUXとDB（LINUX入門）	WEB資料（学内のみ）
第８週： 8　PHP入門	WEB資料（学内のみ）
第９週： 9　PHPによるDB操作　外部サーバの利用	WEB資料（学内のみ）
第10週： 10　課題提示	WEB資料
第11週： 11　課題	WEB資料
第12週： 12　課題	WEB資料
第13週： 13　課題	WEB資料
第14週： 14　課題	WEB資料
第15週： 15　プレゼン課題発表･相互評価	WEB資料

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考	学内環境以外での演習を伴います。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	宿題・課題の取り組みを報告できる。学外においての取り組みが遅延なく行うことができる。
【知識・理解】	仮想マシン、OSなど基礎知識の理解、LINUXを中心としたネットワーク・サーバの理解ができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	相互評価として自己の取り組んだ課題との比較を行い、優劣のポイントを自らの言葉で表現できる。 また、アドバイスを適切に行う事ができる。
【思考・判断・創造】	得られた技術を利活用できる創造・思考ができる

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		30点		
【知識・理解】 ※「専門能力（知識の獲得）」を含む。			10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力（知識の活用）」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		40点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	達成水準の目安は以下の通りです。 あらかじめ提示する課題の取り組み数（完成した課題をカウントする）に応じて配点を行います。 詳細は課題提示の際にお知らせします。
発表・その他	得られた知識をもとに他者へのコメントを行います。 コメントとして適切であるものを取り組み